

広島大学病院 がん医療従事者研修会

広島大学病院では、がん診療の質の向上及び専門的な知識の普及を目的とし、がん医療に携わる医師・薬剤師・看護師等を対象とした研修を以下のとおり開催いたします。

(座長) 広島大学病院 がん化学療法科 教授 杉山 一彦 先生

講演

「低線量CTによる肺がん検診の有効性： 広島県三次市の事例を中心に」

広島大学医系科学研究科 放射線診断学 教授
広島大学病院 放射線診断科 科長

栗井 和夫 先生

日本においては、2005年から2018年に至るまで部位別がん死亡率は肺がんが最も高く、肺がん死亡率を低下させることは重要な課題である。2011年には、全米肺スクリーニング試験(NLST)の結果が発表され、低線量CT検診において、肺がんの死亡率が胸部X線検診よりも20%減少した報告された。これを受けて世界中で低線量CTによる肺がん検診の試みが活発化している。広島県でも、2015年より三次市で低線量CTによる肺がん検診が開始され良好な成績を挙げている。本講演では、三次市のCT肺がん検診を紹介し、その有用性および今後の課題について述べる予定である。



講師紹介

1986年 広島大学医学部卒業
1990年 広島大学大学院修了
その後、広島総合病院、近畿大学、熊本大学等を経て
2010年より広島大学大学院 放射線診断学 教授

開催日時 ▶ 2019年9月6日(金)18:30～

開催場所 ▶ 広島大学病院 臨床管理棟3階 3F2会議室

〒734-8551 広島市南区霞一丁目2番3号

参加申込は、広島大学病院医療支援グループへお知らせください。

☎ : byo-renkei@office.hiroshima-u.ac.jp Fax: 082-257-1720 Tel: 082-257-5934

(主催)

広島大学病院 (都道府県がん診療連携拠点病院) 中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム/広島大学がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン